
シリーズテレビ局【ギャグな番組へ】

度辺 彩番

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シリーズテレビ局【ギャグな番組へ】

【Nコード】

N2934Z

【作者名】

度辺 彩番

【あらすじ】

シリーズテレビ局で働く10歳天才子役『横宮なうる』。

ある日先輩の『星神ルア』に呼ばれて…。

なうると6人のバカ騒ぎにどうぞお付き合いください！！

1. お呼び出し。てか、なんで？

ここはシリーズテレビ局。

沢山の人が今日もここで働いている。

その沢山の中には私『横宮なうる』も入る。

そして今、私はこのテレビ局の有名司会者『星神ルルア』待ち合わせをしている。

「キミがなうるちゃんだね？」

よくテレビでみるよ。天才子役はすごいね。」

そう私はこのシリーズテレビ局の天才子役。

わずか5才からデビューし、今の10歳までずっとこの仕事をやっている。

そして彼女は『星神ルルア』。現在十五歳。

このテレビ局の有名司会者だが、自分からも他の人と一緒にゲームに挑んでいくことでも有名。

「はい。私もよく見えています。」

素早く手を出し握手。

「いきなり呼びだして御免ね。」

私は昨日、彼女に手紙で呼ばれたのだ。

けれど、手紙にはなぜ呼んだのか分かる理由が書かれていなかった。だから私は何で呼ばれたのか知らない。

「じゃあついてきて。」

彼女についていく。

「で、なうるちゃん。」

「なうるでいいです。」

相手は年上。しかも先輩だ。
呼び捨てがいいだろう。

「そうか。じゃあ僕のことはルルアでよろしく。」

「…。わかりました。」

『ルルアでいい。』と言ったのには少し驚いた。

「さあ、着いたよ。」

着いたところはスタジオ7。
何でこんなところに…。

「入って。」

入ってみるとそこは暗い中に『ギャグなシリーズ』という番組のセットがあった。

1. お呼び出し。てか、なんで？（後書き）

これからよろしく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2934z/>

シリーズテレビ局【ギャグな番組へ】

2011年12月10日12時45分発行